山火事を防ぎましょう

いよいよ青森も春本番といったところです。

春は、長かった寒い冬から花の香り漂う季節へと移り変わっていく、とても良い時期なのですが、一方で「強風と乾燥の時期」でもあります。

冬の主役である「大陸の高気圧」の勢力が次第に弱まると、それまで日本の南海上を通ることの多かった低気圧は、日本海から北海道の東に進むようになります。

移動性高気圧が日本付近を周期的に通り、日増しに暖かい南風が吹き、気温も上がってきます。

このように、日本付近から見て南が高く北が低い気圧配置のことを「南高北低」と言いますが、この気圧配置により日本海を北上する低気圧へ吹き込む春の南風は、山越えして空気を乾燥させます。

４月から５月は、年間で最も空気が乾燥すると共に、最も降水量が少ない時期であり、山火事が発生しやすくなります。

さらに、冬から春にかけては風の強い時期でもあり、発生した山火事は延焼しやすくなります。青森・八戸・むつ・深浦の、過去５年間の平均相対湿度と平均風速を図１に示します。

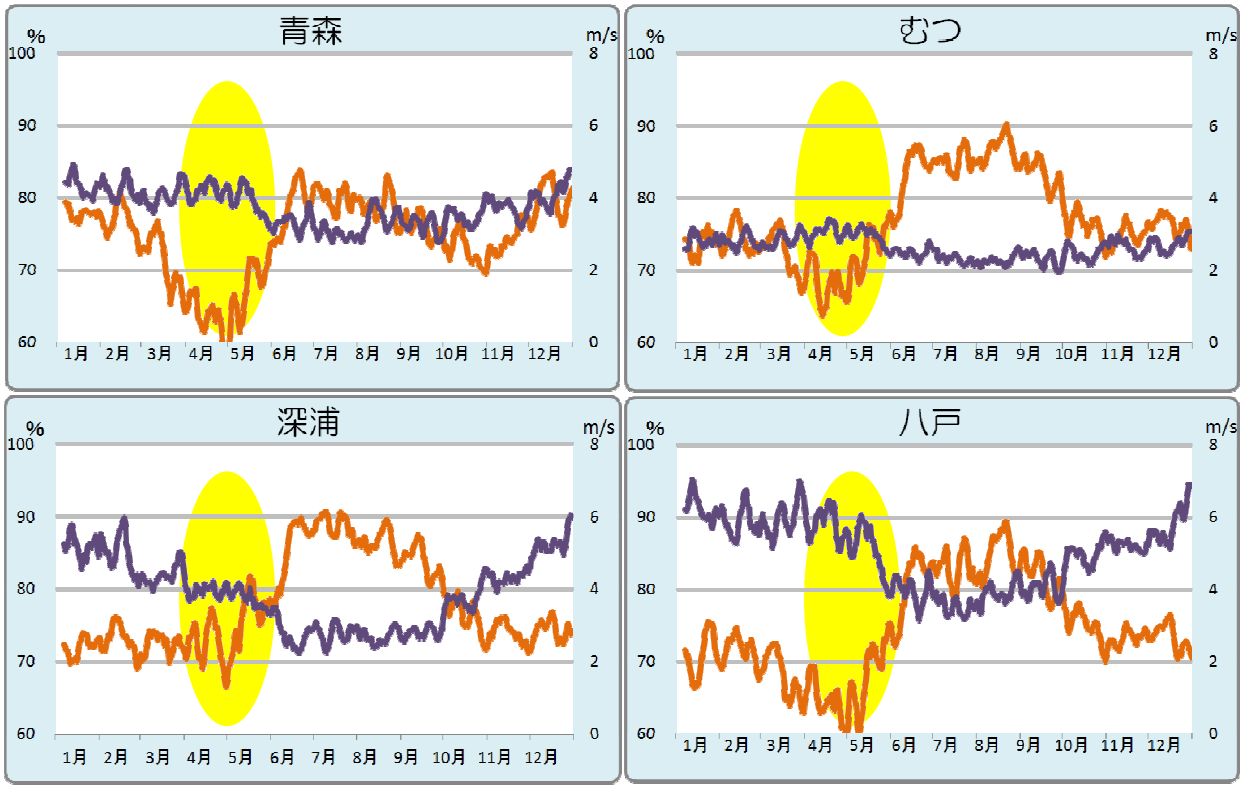

図１　過去５年間(2014.4～2019.3)の平均相対湿度と平均風速（7 日間移動平均）

凡例：　平均相対湿度、　平均風速、　空気が乾燥し風も強い時期

また、過去５年間の県内の山火事発生件数（青森県林政課による）を図２に示します。
年間の山火事件数の約７割は４月から５月に発生しています。
青森県では、４月10日から６月10日までを「山火事防止運動強調期間」とし、巡視活動などが取り組まれています。

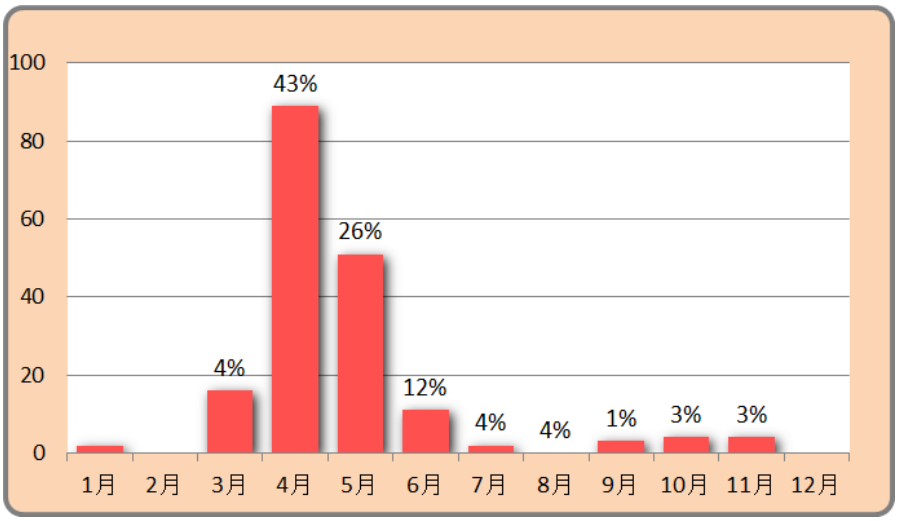

図２　過去５年間(2013.1～2018.12)の山火事発生件数と割合(青森県林政課調べ)

これからの季節は、野や山に出かける人も多くなってくるでしょう。
山火事の主な発生原因は、たき火やタバコなど人為的な火の不始末です。
山に入る際には、くれぐれも火の取り扱いに注意し、大切な森林資源を失わないようにしましょう。

（この原稿の作成　太田火山防災調整係）

国土交通省　気象庁　青森地方気象台
〒030-0966　青森市花園一丁目17番19号
電話017-741-7411
気象庁ホームページ：　http://www.jma.go.jp
青森地方気象台ホームページ：　http://www.jma-net.go.jp/aomori/